

月刊あずかりくん 2018年6月号

保管品の管理、どうされていますか？

レジ連動工場入出荷システム

保管の管理、どうされていますか？

- その利便性から、リピーターも増え、保管の取り扱い点数も年々増えていることと思います。
- そんな中、今年から保管品の管理を任されたAさん、何か困っているようです。



「先月「礼服」を間違って保管で預けちゃったから返してほしい」と言われても。。。
どうやって、礼服を見つけ出したらいんだろう

クラウド連動の工場入出荷システムを利用すると…

ご安心ください！

じつは、Aさんの工場では、右の図のように区画で分けた保管場所の番号を保管時に登録してあるので、

人手をかけずにそのお客様の保管場所を特定できます。

- 仮に、他の工場で処理中の場合であっても、タグ番号などからその状況を把握することができるんです！

保管エリア 区画（棚）番号				
No.128	No.129	No.130	No.131	No.132
通路				
No.133	No.134	No.135	No.136	No.137
通路				
No.138	No.139	No.140	No.141	No.142

よかった！
この仕組みなら、保管途中の「礼服」もすぐに場所が特定できる！



保管品の返却時期になったら、、、

返却の時期が来ても、 スムーズに出荷

- パソコン端末より、「返却品リスト」を発行できるので、それに基づいて、対象の品物を工場や店舗に出荷処理をするだけ！

あやふやな問い合わせにも

画面上で「タグ番号」や「仕上り日」などの条件から絞り込めるので、大まかな情報からでも品物を探し出しやすくなります。

万が一のために

- 出荷処理後、「未仕上がり品一覧」で確認を行い、出荷漏れの確認も行えます。



特に、保管品の場合、半年以上間隔が空いてしまうことが多いから、間違いのないデータ管理をしないと！

複数の工場に分かれていても…

- **布団などの専門工場で処理を行う特殊品の場合でも、**各工場でバーコードタグを読み取り、入出荷登録を行うことで、クラウドや工場端末、レジ等からその品物の現在の状況を把握できます。



これなら、外注品などの高額な特殊品でも、保管でお預かりできそうだ

